

経営概要

株式会社MKファーム

- ◆代表者・所在地
楠 道博 徳島県阿波市
- ◆設立
令和4年10月
- ◆経営規模
施設園芸(トマト50a、キュウリ10a、メロン10a)
- ◆従業員数
正社員1名、パート・アルバイト3名
- ◆事業内容
施設園芸でトマト等の野菜の生産に取り組む。



代表の楠氏(左)と会社設立後、初の新入社員松原さん(右)

1 現状と相談までの経緯

園芸の専門学校でトマトなどの果菜類の栽培技術を学んだ後、阿南市の農業法人でトマトの栽培管理に携わった。その後、出身地の阿波市で就農、認定新規就農者となり、ミニトマト栽培を開始した。就農直後からミニトマト栽培は軌道にのり、取引先も順調に拡大してきたことから、法人化を検討することになり、一般社団法人徳島県農業会議の法人担当から農業経営・就農支援センター(旧:農業経営相談所)を紹介された。

2 相談内容

トマトの売り上げが順調に伸びている中で、取引先への信用力のアップや新たな雇用の確保を図ることが経営課題となってきたため、法人設立に向けた手続きや法人経営のメリット・デメリットについて知りたい。
また、法人設立後の安定した経営を持続していくノウハウなどについても専門家からの助言を希望する。

3 支援内容

■支援チームによる支援計画の策定

法人設立に向け、経営診断の実施、定款作成などの専門家の支援が必要であることから、中小企業診断士による経営分析を踏まえ経営戦略会議において法人設立やその後の経営支援に向けた支援チームを編成し、支援計画を策定した。

■専門家派遣を通じた助言の実施

支援計画に基づき、県農業会議の職員が中心になり、専門家等との調整を実施。農業経営の法人化を図るため、司法書士や中小企業診断士の専門家派遣を通じて、法人設立支援を行うとともに、設立後の経営発展に向けた支援活動を行った。

・定款等作成の助言(司法書士)

法人設立に向けた定款や登記申請書の作成等に関する助言、指導を行った。

・安定した法人経営のノウハウを助言(中小企業診断士)

財務諸表の見方を指導し、経営規模を拡大するための設備投資のタイミングや農業経営のシミュレーションの必要性を説明、法人経営の持続的発展に向けた助言、指導を行った。

支援チーム構成員:

中小企業診断士、司法書士、普及指導員、
県農業会議法人担当職員



経営戦略会議で支援内容の検討

■ 支援を受けて・・・

令和4年10月に法人設立した。翌年4月には初めての
新入社員を迎え入れ組織体制の充実が実現した。

また、法人化に伴って**社会保険制度が充実**したことにより、安心して働ける環境が整った。

■ 今後の経営展開

トマト栽培を柱にイボのない珍しいキュウリやメロンなど野菜の**複合経営にチャレンジ**しており、今後、**経営規模を拡大**し、**栽培作物のブランド化**を進めることで新たな産地づくりに貢献したい。

また、将来は父の経営（水稻・露地野菜）と**経営統合**し、地域農業を支える農業法人として**農地の引き受け手**として活動していくことも検討している。



様々な特徴のある野菜

喜びの声

司法書士・中小企業診断士、農業会議の法人担当のおかげで、法人設立ができました。

また、法人設立後の早い段階において、中小企業診断士から法人経営を維持・発展させていく上で経営者として常に考えなければならないことを教わったことで、法人経営の将来像が見えてきました。

専属スタッフ所感

農業経営の法人化は実現しましたが、法人経営を
持続・発展していくためには、資本を蓄積する事業年度と
設備投資を行う事業年度とが交互に来るようバランスのとれた法人経営を心がけてほしいです。

また、生産が拡大し新規性を感じ取れるタイミングを掴んだら、迷わず付加価値を高めるような設備投資をしていただきたいです。

<支援機関> 徳島県農業経営・就農支援センター



(一社)徳島県農業会議外観
(徳島県 J A 会館)

組織概要

■ 相談窓口

【経営・就農相談】

住所：徳島県徳島市北佐古一番町 5-12

徳島県 J A 会館 8 階

一般社団法人徳島県農業会議

電話番号：088-678-5611

受付時間：月曜日～金曜日（年末年始・祝日を除く）

9：00～12：00 13：00～17：00

徳島県農業を支える多様な担い手を育成・確保するための相談窓口として、徳島県・市町村を始め農業関係機関・団体と連携を図りながら、農業の担い手育成、確保に向けたさまざまな支援を行っています。